

Albirex Racing Team

2018年 全日本フォーミュラ3選手権 シリーズ

第13戦/ 第14戦 / 第9戦 (岡山国際サーキット)

レースレポート

Race Report

Japanese Formula 3 Championship

Round 13/ 14/ 9 OKAYAMA International Circuit



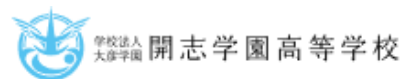
MOTOR FREAK



sugar



GIA 専門学校
新潟国際自動車大学校



大会概要

2018年 全日本フォーミュラ3選手権 第13戦 第14戦 / 第9戦

(第9戦は7/29(日)台風21号接近による中止となった代替開催)

大会名称

2018 全日本F3選手権シリーズ 第6ラウンド

開催日

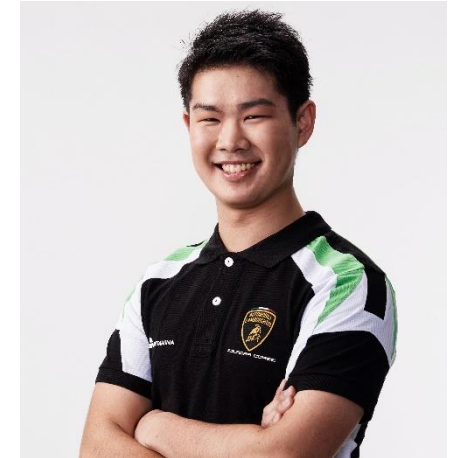
2018年 9月8日(土) 予 選 / 第13戦決勝

9月9日(日) 第14戦決勝 / 第9戦決勝

開催サーキット

岡山国際サーキット 1Lap=3.703Km

出走:15台(Nクラス1台)



#14 Albirex-RT

ドライバー:根本 悠生

Driver Yuki Nemoto

出身地:東京都

生年月日:1996年 9月22日

身長/体重:175cm/70kg

血液型:O型



MOTOR FREAK



MAKE
WINNER

sugar

たわら屋

GIA 専門学校
新潟国際自動車大学校



学校法人 開志学園 高等学校



RACE REPORT

専有走行① 2018/ 9/ 7(金) 結果 Pos 8 Time 1' 24.177 / Laps 32/37 Ave.km/h 158.366

専有走行② 2018/ 9/ 7(金) 結果 Pos 9 Time 1' 24.092 / Laps 29/34 Ave.km/h 158.526



公式予選 2018/ 9/ 8(土) 9:00～ 結果 第13戦 6位(11/13Laps) 第14戦 Pos 6 第9戦 Pos 3

Weather : Rain Track : Wet Rd.13 Qualify Time : 1' 39.062 Rd.14 Qualify Time : 1' 39.204

* 第9戦は第13戦の決勝結果によるスターティンググリッドとなります。

第13戦決勝 2018/ 9/ 8(土) 14:10～

Weather : Rain Track : Wet

Pos 6 結果 3位(18 Laps)

Rd.13 Race Time : 29' 46.974 Best Lap : 1' 37.588 Lap 12/18

決勝スタート10分前に雨が強くなる中での戦いとなった第13戦。オープニングラップの1～2コーナーで、前を走行する3番手争いの2台が接触し1台がコースアウトとなり根本選手は5番手にあがる。5周を過ぎたあたりから雨が弱まりコースの水量が減りペースがあがる展開に、10周目に2番手を走行の選手がコースリタイアとなり4番手にポジションアップとなる。さらに10周目の1コーナーで前の車両が僅かにアウトに膨らんだ隙を見逃さずオーバーテイクし3番手に浮上すると後続のマシンを寄せつけず根本選手は自身の初ポイントで3位・初表彰台で飾った。F3CクラスではAlbirex-RTそしてメルセデスエンジンとともに初の表彰台獲得となった。

**MOTOR FREAK****MAKE WINNER****sugar****たわら屋**

GIA 専門学校
新潟国際自動車大学校



開志学園 高等学校



RACE REPORT

第14戦決勝 2018/ 9/ 9(日) 10:15～ Pos 6 結果 6位 (18Laps)

Weather : Rain Track : Wet Rd.14 Race Time : 36' 19.630 Best Lap : 1' 40.066 Lap 12/18

強い雨による荒天のため25周回数を18周回(最大35分)に変更となった第14戦は安全性を重視し今季初のセーフティーカースタートとなる。SCは3周先導し、4周目にスタートが切られ根本選手はスターティンググリッド通りの6番手をキープしたままレースが進んでいく中、1つでも順位を上げようとするがウォータースクリーンで視界が悪くなり前走車の背後につけず徐々に間隔が広がっていく。レース終盤の16周目には雨量が多くなり再びSCがコースインとなりレースは終了した。根本選手は6位でチェッカーフラッグとなり2連続のポイント獲得となった。



第9戦決勝 2018/ 9/ 9(日) Pos 3 ※ 開催中止

台風21号接近による7/29開催中止となった第9戦の代替戦、スターティンググリッドは第13戦の決勝結果となり根本選手は3番手の好位置からのスタート予定でしたが、悔しくも当日の荒天によるタイムスケジュールのディレイが発生し、天候及び日没を考慮され開催中止となった。



MOTOR FREAK



MAKE WINNER

sugar

たわら屋

GIA 専門学校
新潟国際自動車大学校



学校法人 開志学園 高等学校



根本悠生選手 コメント

全日本F3選手権 第13戦&第14戦&第9戦 岡山国際サーキット

通常であれば木曜日から開始される練習走行ですが、今回は金曜日スタートという変則的な週末でした。我々は前回の岡山大会を欠場しているため、他チームと比べても更に時間が削られた形となり、より一層素早いセットアップが必要となりました。また週末は雨予報でしたが、練習日である金曜日は1日ドライ路面での走行。完全にレースに向けたテストはできなかったものの、いまだに課題となっているドライ路面でのペースアップを目標に、新たなセットアップを試していきました。貴重なデータを収集することが出来たと共に、ウェット路面に向けたベースセットアップの方向性も探ることが出来ました。ドライビング面においても、岡山は2年ぶりとなる走行でしたが出だしから好調。しっかりと課題を自分で発見・修正・改善することが出来たと思います。また今回からタイヤの新しい使い方にチャレンジしていたのですが、最後まで100%自分のものにはできませんでした。次戦SUGOまでにシミュレーターも活用しながらトレーニングをしていきます。順調に方向性は見えたものの、ラップタイムはまだまだ足りないのも事実。次戦菅生に向けて、今後ファクトリーでデータを解析しセットアップの改善に力を注ぎます。



予選1時間前にはドライ路面がちらほら覗くコンディションに。前日の夜のうちに完全に雨セットに変更していた我々はこのタイミングでドライセットに戻すことを決意。しかし予選開始まであとわずかというタイミングで再び雨がサーキットに降り始めることに。ここでチームが時間のない中雨セットに急遽戻すことを決断して下さり、予選開始に間に合わせて下さいました。雨には元から自信があり、また雨が徐々に強くなるという予報もあったため前半からしっかりプッシュをしていきました。しかしトラフィックに引っかかったり、前走車の巻き上げる水煙に視界を遮られたりとで中々クリアラップが取れず。前半は3番手をキープしていたものの、雨量が減ったタイミングで6番手に後退、そのまま一度赤旗中断となりました。

わずかなセットアップの変更を施し、新品タイヤを投入せずそのまま2回目のアタックへ。このセットアップ変更が功を奏し安定してタイムを上げることが出来ました。しかし攻めの姿勢を貫いていたこともあり中々セクターベストをまとめられませんでした。

(次ページへ続く)



MOTOR FREAK

MAKE WINNER

sugar

たわら屋

GIA 専門学校
新潟国際自動車大学校

学校法人 開志学園 開志学園高等学校

SPN
SPEED PARK NAGATA

(根本選手コメント続き)

それでも6位&6位というワークス勢のすぐ後ろの順位を獲得することが出来ました。

自己ベストを繋いでも5番手までは届かず。しっかり走行後はチームとデータをチェックし、予選中にできなかった大幅なセット変更を施し決勝に臨みました。

土曜日に行われた第13戦。雨のスタートはまだまだ勉強不足で、2回のスタート練習でも失敗が目立っていました。多少改善はできたものの、まだまだ良くなると確信しています。スタート後の位置取りは悪くなく、不用意な接触を避けつつしっかり自分のポジションを確保することが出来ました。ただ数コーナー抜けた先のアドウッドでは完全に前方の視界が水煙で遮られ、やむなく手前でブレーキを踏んでしまいました。結果的にはこれがこのレース唯一の大きなミスとなり2位にプレッシャーをかけることが出来ずに終わってしまいました。ここでもう少しアグレッシブにブレーキングをして前走車に食いついていくことができれば、ヘアピンでインを差したり相手のミスを誘ったりとアクションを起こすことができたのですが、手前でブレーキを踏んでしまったことで間隔を空けすぎてしまいました。

しかしその後はセットアップ変更の甲斐もあり、継続して安定したラップを刻むことができました。前走車のミスによりポジションを上げクリアラップを確保すると、12周目には全体のファステストラップを記録。最後には他チームに奪われてしまったものの、4位以下をしっかりと引き離すハイペースで走行することができました。ファイナルラップまでしっかり安定して走行することができ、アルビレックスRT、メルセデスエンジンの全日本F3選手権Cクラスでの初表彰台を獲得することができました。



翌日曜日に行われた第14戦は早朝から雨が酷く、今シーズン初のSCスタートに。3周後にリスタートとなったものの、予想よりも多い雨量に悪戦苦闘することになった。実はウォームアップランの時から前日と比べ雨量やコース上の水溜りが多いことはもちろん確認していたのですが、経験不足から雨量に対するセットアップ変更をより大幅にしなければならぬことに気付くことができませんでした。その為特にコースの前半区間で水溜りに足をすくわれるシーンが多く攻めきれない状況に。何度も2コーナーやモスSでアクアプレーニングに悩まされ、白線にタイヤを乗せてしまうほどコースアウト寸前というシーンもありました。

(次ページへ続く)



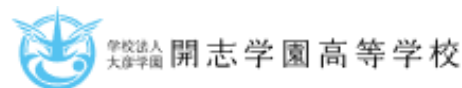
MOTOR FREAK



sugar



GIA 専門学校
新潟国際自動車大学校



(根本選手コメント続き)

雨量に対するセットアップ変更以外は非常に上手くいき、比較的雨量の少なかった最終セクターでは最終的なリザルトでも全体ベストを記録することができました。レースの最後に安全の為SCが導入されたこともあり、順位を上げるには至らなかったものの貴重な1ポイントを獲得、そして夕方に控える第9戦に向けて非常にポジティブなレースとなりました。

夕方に予定されていた第9戦代替戦は、雨量の増加によりSFのレースが中断されたこと、それに伴いF3のレースの開始時刻が遅れる見込みとなり、雨量や日没の時間を考慮し中止となりました。第13戦の結果からこのレースは3番手からのスタートとなり、またセットアップにも自信があったことから非常に大きなチャンスだっただけに残念でした。ですが様々な状況や安全を考慮し中止をするという判断は正しいと思いますし、残りの菅生・富士で代替戦が開催されることとなれば、そこでしっかり結果を残せるよう頑張りたいと思います。

改めて、チームとしても、メルセデスエンジンとしても初の表彰台を獲得できたことを非常に嬉しく、また誇りに思います。日頃よりサポートして下さったスポンサーの皆様、サポーターの皆様そしてファンの皆様、ありがとうございます。これに満足することなく、引き続きチーム一丸となって表彰台、そして優勝目指して頑張っていきますので引き続きアルビレックスRT #14 根本悠生の応援を宜しくお願い致します。



根本 悠生



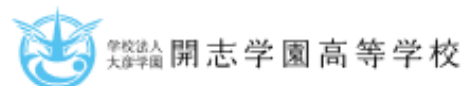
MOTOR FREAK



sugar



GIA 専門学校
新潟国際自動車大学校



中村監督 コメント

今回の岡山大会では前回キャンセルしての参戦となり他のチームより劣れを取ってのスタートとなりましたが、前回の茂木のデータを分析し確実に進化しての岡山入りとなりました。ドライとなった専有走行では着実にセットを仕上げて行きました。雨となった予選ですが、専有走行ではドライ路面のみの走行でしたので、ウェット路面の走行はぶっつけ状態となりましたが、レインセットのマシンと雨の得意な根本選手が上手くアジャストする事ができ決勝へ向け良い流れが作れたと思います。

決勝ではポイント獲得が目標でした。ですがウェットレースの荒れた展開にも助けられ3位に浮上した直後の残り5週が大変長く感じられました。レース後の根本選手のコメント通り、他のドライバーのミスが目立つ展開となりましたが、そこでミスをしない根本選手、タイムを見てもワークスチームに引けを取らない速さ、残り3週で更新されるもファステストラップを刻んだ事はチームとしても大きな収穫となりました。根本選手・Albirex-RT・メルセデス共に初のポディウム獲得となり、また第14戦でも6位入賞ポイント獲得となりました。

代替の第9戦は3番手スタートという絶好のポイント積み重ねのチャンスでしたが、天候不良及び日没により中止となり雨に翻弄される事となってしまう、幻となった決勝に大変悔しい思いをしました。

総じて今回はチームの方向性が間違っていないことがわかり、根本選手とも更なる高みを目指し努力致します。

これからも応援よろしくお願い致します。



学校法人 開志学園 高等学校

